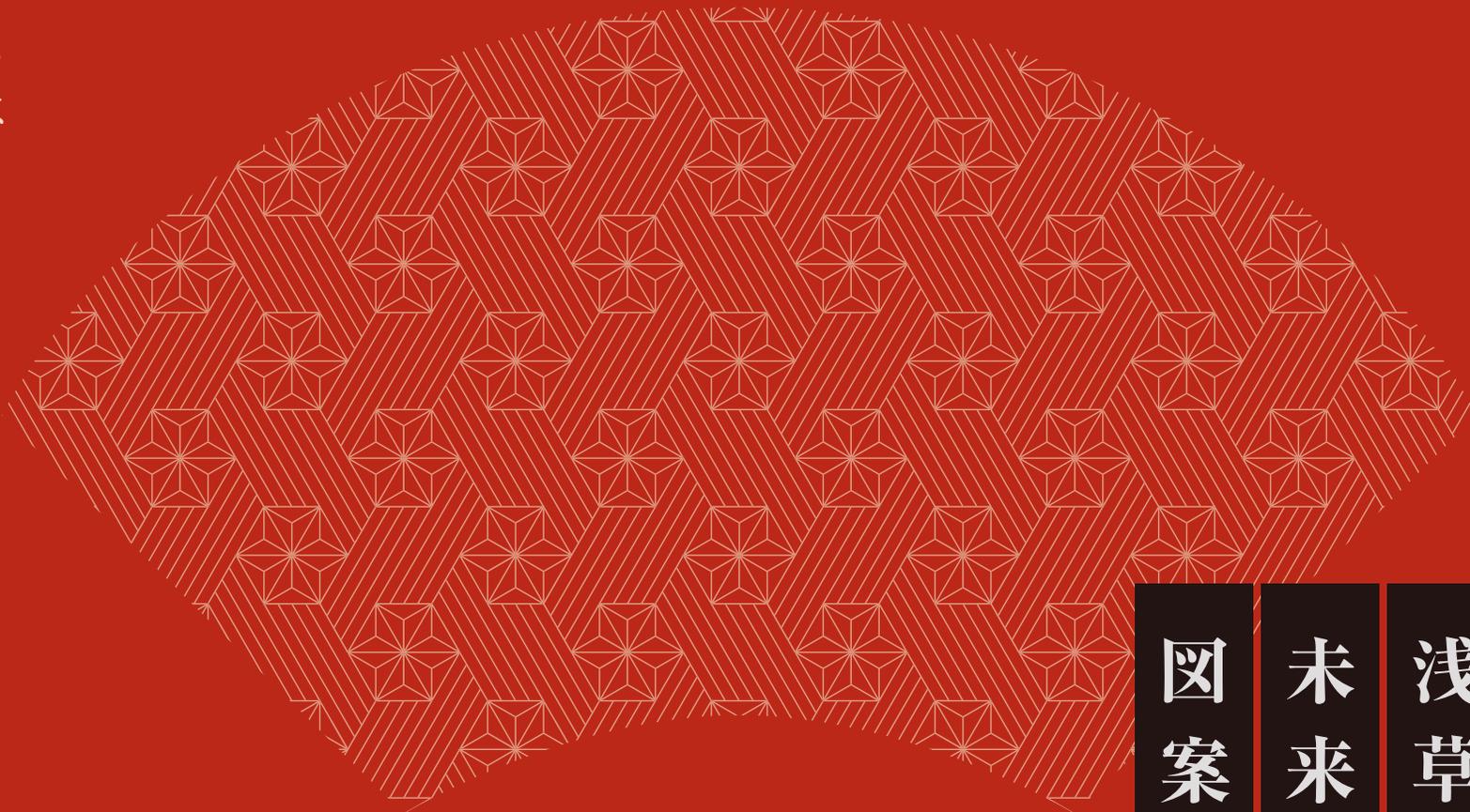


歴史のまちに、  
再び新しさを取り入れよう。



図案

未来

浅草

まちづくりビジョン

表紙の紙の裏がきます

浅草は、まちの人々とつくり上げてきたまちです。

人の心を惹きつける活気のある場をつくること、

暮らしや営みを大切にすることを

いつも心に置いて、丁寧につくり上げてきました。

これからの浅草においても、それは同じ。

変わらず、まちの人々とともに未来を描きます。

# 目次

<b>I</b>	<b>はじめに</b>	
	Q. 歴史があるまち浅草は、 <sup>ふる</sup> 旧いのか。	P05-06
	浅草まちづくりビジョン	P07-08
	ビジョンコンセプトストーリー	P09-10
	まちづくりのコンセプト	P11
	コンセプトの実現に向け大切にしたいポイント	P12-13

<b>II</b>	<b>実現に向けた取り組み</b>	
	まちづくりのコンセプトに基づくアプローチ	P16
	■ 快適性を磨き上げるーアプローチ1～3	P17-18
	■ 人・まちを結わえるーアプローチ4～6	P19-20
	■ 文化を際立たせるーアプローチ7～9	P21-22

<b>III</b>	<b>戦略的まちづくりプログラム</b>	
	戦略的まちづくりプログラムの設定箇所	P26
	① 人中心の空間の創出プログラム	P27-28
	② 新たな回遊拠点の創出プログラム	P29-30
	③ 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム	P31-32
	④ 賑わいの拠点の発展プログラム	P33-34
	まちづくりの「アイデア」	P35-36
	浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 委員名簿(敬称略)	P37-38

# 浅草未来図案とは

浅草未来図案(以下、「本図案」という。)は、

浅草の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていくために、

概ね20年後のまちの姿や、その実現に向けた

短期・中長期的な取り組みを示す「道しるべ」となるものです。

浅草のまちづくりは、平成19年6月の「浅草地域まちづくり総合ビジョン」策定以降、

東京スカイツリーの開業や外国人を含む観光客の増加など、取り巻く環境が大きく変化しています。

そこで本図案では、住む人や商いをする人の生活様式や、

訪れる人が求めるニーズが多様化した時代における、これからのまちづくりの方向性を伝えます。

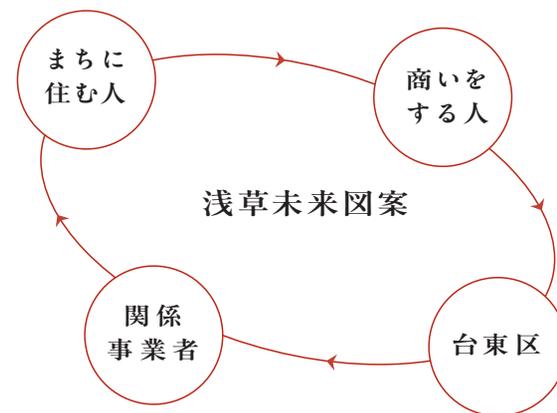
本図案で対象とする浅草は、

まちの中心部とその周辺地域を含むエリアとします。

本図案の取り組みは、台東区だけでなく、

まちに住む人、商いをする人、関係事業者の皆様と共に

取り組んでいく内容を位置づけます。

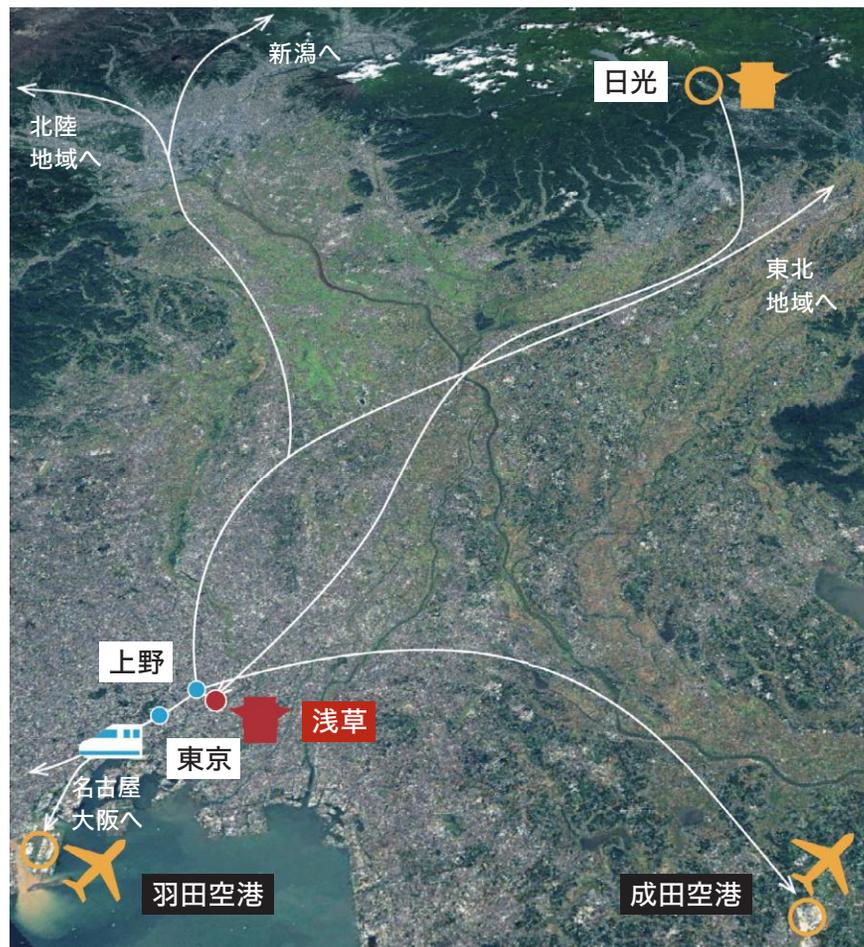


## 浅草について

浅草は、創建1400年を迎える浅草寺の門前町として発展してきました。江戸時代になると、浅草は江戸市街地に吸収され、参詣・行楽・歓楽を目的とした人々があふれる江戸有数の盛り場となり、大正時代には、六区興行街を中心に娯楽文化の発信拠点となりました。1923年の関東大震災により、当時の浅草区では約7割の家屋が焼失したとされていますが、帝都復興計画の土地区画整理事業の中で現在とほぼ同じ街路が形成され、隅田公園などの都市基盤の骨格が整備されました。

その後、戦災復興を経て、1960年頃までは一大歓楽街として盛大な活気を見せましたが、1964年の東京オリンピック後にカラーテレビが普及すると娯楽が多様化し、映画人気が下火になるとともに、六区興行街の勢いも失われました。苦しい衰退期を乗り越えながら、地域が主体となり、サンバカーニバル等による継続的なまちおこしが推進され、ROXやビューホテルの進出、つくばエクスプレスの開通、地区計画による六区興行街の再生等により、外国人観光客をはじめ多くの人を訪れるまちとなりました。

また、現在の浅草は、多方面から鉄道が乗り入れているだけでなく、羽田空港・成田空港といった国際玄関口からのアクセス性も高いことから、どこからでもどこにでも行きやすい場所となっています。



浅草の広域的な位置関係  
(地理院地図/GSI Maps(国土地理院)の航空写真を加工し作成)

この章では、  
浅草の「まちづくりビジョン」を掲げ、  
本図案の「まちづくりのコンセプト」を  
示します。

# I はじめに

Q

歴史が

あるまち浅草は、

旧ふるいのか。



1,400

years of  
history



# A

浅草は、常に変化を  
取り入れてきた  
歴史がある、  
新しいまち。

浅草は歴史があるまちです。

資料をひもとくと、その始まりは飛鳥時代にまでさかのぼると言われ、以来、浅草は浅草寺の門前町として1400年にわたって人々に愛されてきました。浅草が、歴史があるまちであることは疑いようがない事実ですが、ここでひとつの問いが浮かびます。

それは、歴史があるまち浅草は、旧いのか<sup>ふる</sup>という問いです。

実は、浅草は旧く見えるようで、常に新しいことを取り入れ、変化してきたまちです。

時代によって変化する、愛されるまちの在り方。

これからも浅草を、まちのみなさまにも、まちを訪れるみなさまにもますます愛されるまちにしていきたい。

本図案では、そんな思いを込めて、

これから20年後を見据えた、まちのビジョンやコンセプトを描きます。

# 歴史がある、 新しいまち浅草

これまで浅草が積み上げてきた歴史や文化を尊重しつつ、新しい考え方や時代の変化も柔軟に受け止めながら、まちが生みだす賑わいや魅力をさらに広げていきます。

浅草で培われてきた暮らしや営みを大切にしながら、“住むまち”としての価値も高めていきます。





# 二十年后から語る

## 浅草のまちものがたり

2047年の浅草は、浅草寺の門前町としての文化資源価値がますます高まり、その独特の文化を求めて国内外から人々が集まるまちになっています。変わらずたくさんの人が集まるまち・浅草は、この20年間の取り組みによって、「まちづくりの理想形」として、たびたび話題に挙がるほどになりました。

## まちに住む人 商いをする人 から見た浅草

浅草は、昔と比べるとずいぶん過ごしやすくなりました。かつての浅草は、まちの一部に人が集中していて、浅草寺周辺はまるで混雑時の電車に乗っているようでした。観光客が集まるエリアは避けていましたし、住んでいるまちなのに、人が多すぎて自分たちのまちではないような気持ちになることもしばしば。今では、魅力的な文化拠点が点在するようになり、たくさんの方が訪れている割に混んでいない、過ごしやすいまちになりました。

昔は観光地に住むと大変だねと心配されることもありましたが、そんなことはありません。浅草は楽しい時間を過ごすまちですから、行き交う人もみな笑顔。粋な下町人情を感じるまちの様子を見ていると、なんだかこちらもいい気分になってきます。

ここ20年の取り組みでまちが快適になり、みんなの心にもずいぶん余裕が出てきたように感じます。浅草の文化を際立たせる試みの中で、浅草六区を中心に娯楽施設が増えまして、どこでも娯楽にアクセスできる時代と言われて久しいですが、こんなに「本物」を感じる娯楽が楽しめるまちは、浅草を置いてほかにありません。

浅草には多面的な魅力があります。少し歩くとまちの景色がめまぐるしく変わります。観光・産業・商業・芸能そして隅田川の自然…。時間軸という観点でも浅草は多面的。一年を通して地域行事があり、そのたび季節の移ろいを感じさせてくれます。

歴史があるからこそ、ほかのまちには真似できないオリジナリティがあり、その唯一性を求めて「このまちに住みたい」という若者も集まってきています。

まちを支える若い世代が集まってきているのも、浅草がまちづくりの理想形として注目される理由のひとつですね。

## まちを訪れる人から見た浅草

浅草はまず、入口からしてすばらしいまちです。隅田川から浅草に向かう小さな船旅は、特別な気分が味わえます。デッキに出て、気持ちいい風と太陽を浴びながら北へ進み、すれ違う船の乗客が見えると、こちらもよりいっそう心が躍ります。この20年で隅田川の水上交通はその価値が見直され、ずいぶん多くの船が行き交うようになりました。

江戸・東京の人々の暮らしに想いを馳せて景色を眺めていると、あっという間に浅草の船着き場に到着します。そこには広い空と豊かな水辺が広がっていて、ここでしばらく時間を過ごしたくなります。この水辺は、まちづくりを研究する世界中の有識者が視察に訪れるほどレベルが高く、これだけ美しい景観を持ちながら、災害対策にもなっているというから驚きです。また、浅草は多くの人々が日常的に利用する鉄道

も特別です。駅には、このまちらしい演出が施され、「いよいよ浅草に来たな」という気持ちにさせてくれます。かつて、使い勝手が悪いと言われた地下空間も、今は見る影もありません。バリアフリーが施され、誘導サインもわかりやすく、各路線の行き来もしやすい。利便性とオリジナリティが見事に融合したまちの入口になっています。雷門・仲見世通り・浅草寺…。古くから続く門前町には、今日も活気と下町情緒で満ちています。長年浅草で商売をされている方からまちの歴史や見所を教えてもらったりできるのは、まさに浅草ならではの「粋な買い物体験」だと感じます。

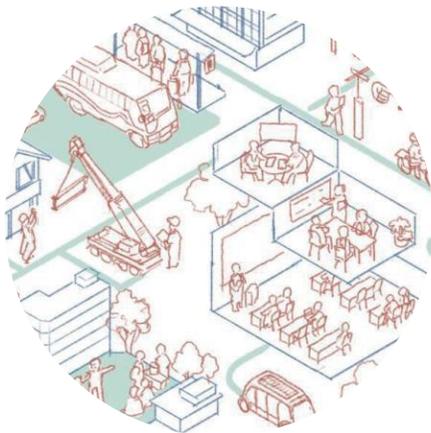
まちの中心部を楽しんだ後は、観光情報にアクセスして、周囲のエリアを楽しみます。近くであれば歩いて安全に行けますし、少し離れたエリアでも、さまざまなモビリティがあるので安心です。まちの情報や中心部以外のエリアにアクセスしやすくなったのも、この20年の大きな変化。エリアごとに特色があり、年中地域行事をやっている浅草は、訪れるたびに新しい発見と出会えるまちですね。

# まちづくりのコンセプト

まちに住む人、商いをする人、関係事業者らの声から描いた浅草を実現するために、  
本図案では、3つの「まちづくりのコンセプト」を立てます。

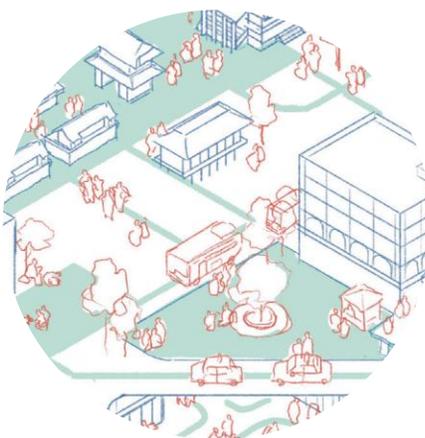
## 快適性を 磨き上げる

季節の移ろいにあわせ、  
多面的な魅力が広がる。  
人とまちの安全に配慮された  
取り組みが進む。  
多様な移動手段が結びつき、  
アクセシビリティが高まる。



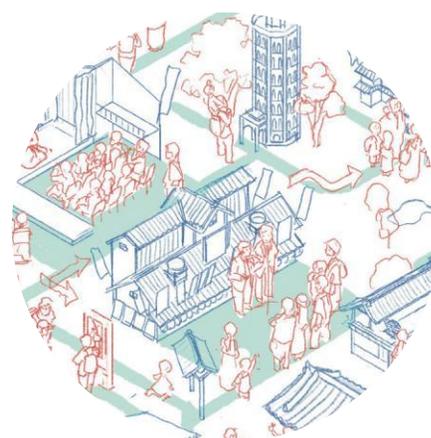
## 人・まちを 結わえる

エリアごとに特色のあるまちで  
ゆったり過ごす。  
駅まち空間では、浅草に来た  
「高揚感」が高まる。  
水辺とまちが近く、船に乗れば  
色んな場所へ行ける。



## 文化を 際立たせる

下町情緒溢れる文化拠点が  
あちこちに点在する。  
ここにしかない文化・  
コンテンツがたくさんある。  
たくさんの人を心地良くさせる  
おもてなしがある。

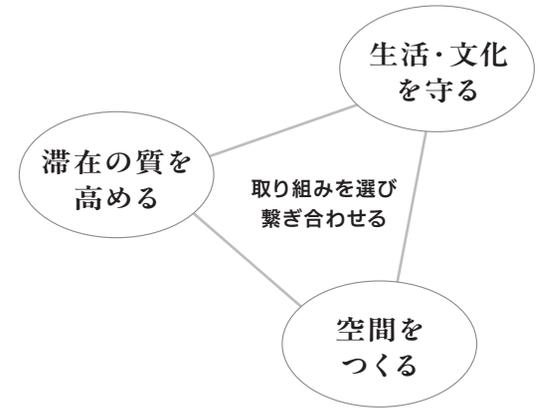


# コンセプトの実現に向け 大切にしたいポイント

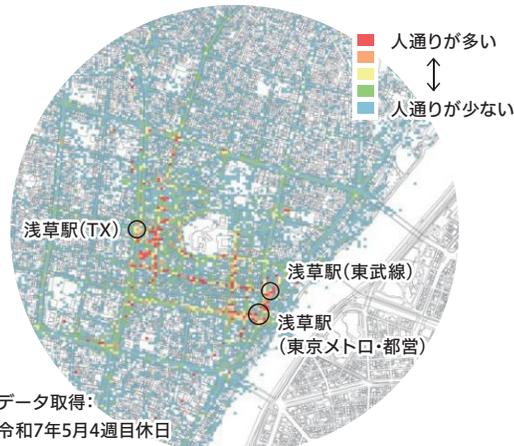
浅草には多様な特性と魅力があり、場所に合った取り組みを進めることが大切です。

- 例えば、
- ・地域の暮らしが根づいた場所では、その生活や文化を大切にする。
  - ・観光客が多く訪れる場所では、おもてなしや滞在の質を高める。
  - ・人通りが多い場所では、滞留のためのゆとりを確保するために新たな空間を創出する。

このような多面的な取り組みを場所にに応じて選択し、繋ぎ合わせることで、まちづくりのコンセプトの実現に繋がり、浅草のまちがさらに成熟していきます。

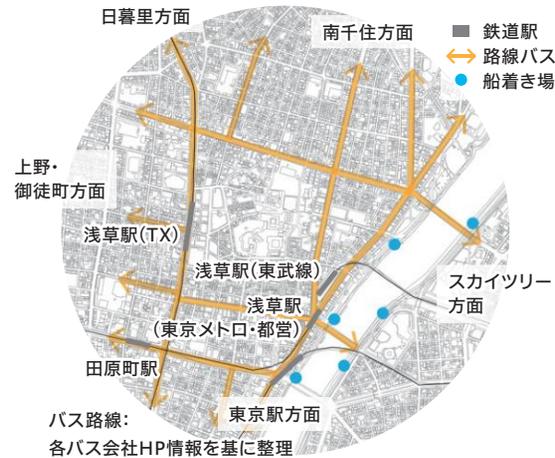


## ■ 来街者の回遊動向(人流の傾向)



来街者の動向は、人通りが多い場所と少ない場所  
で分かれています。鉄道駅を中心に人の集積と広  
がりが見られ、人の集まり具合に応じて取り組みの  
あり方を考える必要があります。

## ■ 交通(鉄道・路線バス・舟運)の状況



地区内には、東西あわせて4路線の鉄道駅があり、  
各駅を経由する形で路線バスのルートが形成され  
ています。また、船着き場が南北にかけて複数箇所  
に整備されており、舟運による広域的な移動も可  
能となっています。

## ■ 主な地域資源(モノ・コト)の状況



地区内の観光の中心となる場所や、地域の方が住  
まうエリアとも、各場所の個性が生かされたイベン  
トや、地域のくらしやなりわいが根づいた産業が  
多々展開されています。

## ■ 土地利用の現況

浅草寺周辺の地区の中心エリアには商業用地が多く、言問通り以北のエリアには住宅用地が多く分布しています。



- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公共用地
- 公園、運動場等
- 鉄道・港湾等
- 未利用地等
- 水面

出典：  
土地利用現況調査  
(東京都, 令和3年度)

## ■ 緑被地分布状況

特に浅草寺周辺や隅田公園、待乳山聖天等で、樹木や草地在りまとまって分布している状況となっています。



- 樹木被覆地
- 草地
- 屋上緑化
- 裸地
- 水面

出典：  
台東区みどりの  
実態調査(平成31年度)

## ■ 建物別築年数(R3)

築年数が新築～10年未満の建物も見られますが、大半が40年以上経過した建物となっており、今後、多くの建て替えが進行すると想定され、その対応が求められます。



- 40年以上
- 30年以上～40年未満
- 20年以上～30年未満
- 10年以上～20年未満
- 新築～10年未満
- 不明

出典：  
土地利用現況調査  
(東京都, 令和3年度)

## ■ 地区内の主要な商店街

地区内の多くの街路や通りに、個性豊かな商店街や商店会等が分布しており、商業を主とした生活やなりわいが息づいています。



- 商店街・商店会等

出典：  
台東区資料

## II

# 実現に向けた 取り組み

この章では、  
前章の「まちづくりのコンセプト」に基づき、  
浅草の特性を踏まえた、つのアプローチを掲げ、  
各アプローチに沿った  
具体的な取り組みについて示します。

# 各アプローチの読み方 (p.17-22)

- ①コンセプトの名称 各アプローチが、1章で示した「まちづくりのコンセプト」のどれに該当するかを示しています。
- ②未来のまちの姿 各コンセプトに紐づく「アプローチ」を実行することで、将来にどのようなまちの姿になっているかを示しています。
- ③イメージイラスト 各コンセプトに紐づく「アプローチ」を、具体的にまちのどのような空間で実行するかについて、吹き出しとあわせて示しています。
- ④「アプローチ」の番号とタイトル 各アプローチの番号とタイトル(名称)を示しています。
- ⑤各「アプローチ」の意図 各アプローチの実現に向けて、実践する具体的な行動を示しています。
- ⑥実現に向けた取り組み 各アプローチの実現にあたって、実践する具体的な取り組みのメニューを、短期・中長期の時系列ごとに示しています。取り組みの内容については、特定の場所や人などに限定せず、汎用性を持たせた記載としています。

① 快適性を磨き上げる

②

**未来のまちの姿**  
四季の行事や歴史を継承し、洗練で飾がけられた生き生きとした暮らしや遊びが身近にあるまち  
新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・働いている人・訪れる人が馴染みやすく快適に過ごせるまち  
訪れる人も楽しく、自然観光拠点にふさわしい災害時にも不安感の少ないまち

③

④

**01 暮らしと観光を共存させる**

商業に訪れる人・働いている人・訪れる人が互いに交流できる賑やかな街を上げながら、まちづくりの新しい手を育てていくとともに、最新技術やデータを活用し、住む人は便利に、訪れる人は快適に、そして地元のサービスや観光業がより魅力的になる工夫をしています。

建物の更新時における商業施設のルールにより、活発な交流や賑わい、新しい街並みを生み出します。

⑤

④

**02 人とまちを安全に**

地上・地下のオープンスペースを拡充し、日常利用と災害時避難場所の両機能を強化し、安全性を高めます。

災害時対応の強化、避難ネットワークの構築、気候変動対応のグリーンインフラ導入、無電柱化の推進など、防災・減災対策を進めます。

⑥

④

**03 まちの移動をスムーズに**

社会実験を通じて既存交通のあり方を整理し、歩行者空間とのすみ分けを明確化します。

歩行者中心の道路空間の形成に加え、路線バスやタクシー等の公共交通、再発着の電車ならではの移動手段との結びつきを強化します。

実現に向けた取り組み

**【短期】**

- 住む人・働いている人・訪れる人が馴染みやすくなる生活空間の確保
- 賑わいや観光業を活性化させる、まちづくりの新しい手の育成
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 暮らしや観光の快適性や利便性向上につなげる、まちづくりデータ基盤の構築

**【中長期】**

- 住む人・働いている人・訪れる人にとって魅力的な空間・街並みの再編
- 賑わいや観光産業の賑わいや維持管理に取り組みがデジタル化の推進
- 迅速で結果したい人々がチャレンジできる機会の創出

**【短期】**

- 多様な訪れる人に向けた、観光施設や駅周辺等にける防災・災害情報発信の充実
- 都市防災計画に基づき、防災対策の強化
- 大規模災害時の人や物搬送の安全性確保
- 騒音や振動等、近年の気候変動にも対応した、安全かつ快適な屋外空間の整備

**【中長期】**

- 災害時や災害時にも多目的に利用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難経路や安全かつスムーズに移動ができる通りの創出
- 都市防災計画に合わせた、商業店舗等の防災機能の充実

**【短期】**

- 地区内の既存交通の整理

**【中長期】**

- 新たなモビリティ活用に向けたルールづくり
- 歩行者中心の道路空間を強化する、自転車や新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの創出
- 防災・減災対策に合わせた、観光バスや自転車の駐車場の確保

15

# まちづくりの コンセプトに 基づくアプローチ

魅力ある空間の質や人の心(ホスピタリティ)を向上させ、**快適性を磨き上げる**こと。

地区内の通りや軸を空間的・心理的につなぎ、**人・まちを結わえる**こと。

まちのなかに散りばめられた魅力を明確にし、**文化を際立たせる**こと。

これらのコンセプトに基づき、

9つのアプローチを掲げ、

まちづくりの取り組みを推進していきます。

## 快適性を 磨き上げる

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 03 まちの移動をスムーズに

## 人・まちを 結わえる

- 04 居心地の良い空間をつくる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 06 水辺とまちを  
むすぶ

## 文化を 際立たせる

- 07 表舞台をつくる
- 08 本物を伝える
- 09 おもてなしの  
質を上げる

# 快適性を磨き上げる

## 未来のまちの姿

四季の行事や歴史を継承し、浅草で紡がれてきた生き生きとした暮らしや営みが身近にあるまち

新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・商いをする人・訪れる人が調和して快適に過ごせるまち

訪れる人にも優しく、国際観光拠点にふさわしい災害時にも不安感0のまち



## 暮らしと観光を 共存させる

浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が互いに交流できる取り組みを広げながら、まちづくりの担い手を育てていくとともに、最新技術やデータを活用し、住む人は便利に、訪れる人は快適に、そして地元のサービスや観光業がより魅力的になる工夫をしています。

建物の更新時における浅草独自のルールにより、浅草らしい歴史や風情、賑わいあるまち並みを守ります。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 暮らしや観光の快適性や利便性向上につながる、まちづくりデータ基盤の構築

#### 【中長期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- 浅草で起業したい人々がチャレンジできる機会の創出

## 人とまちを 安全に

地上・地下のオープンスペースを拡充し、日常利用と災害時避難場所の両機能を強化し、安全性を高めます。

災害時対応の強化、避難ネットワークの構築、気候変動対応のグリーンインフラ導入、無電柱化の推進など、防災・減災対策を進めます。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 多様な訪れる人に向けた、観光施設や駅周辺等における防災・災害情報発信の充実
- 帰宅困難者に関する避難誘導対策の強化
- 大規模災害時の人や物資の輸送手段の確保
- 酷暑や豪雨等、近年の気候変動にも対応した、安全かつ快適な屋外空間の整備

#### 【中長期】

- 平常時や災害時にも多目的に利活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの創出
- 都市基盤整備に合わせた、備蓄倉庫等の防災機能の充実

## まちの移動を スムーズに

社会実験を通じて既存交通のあり方を整理し、歩行者空間とのすみ分けを明確化します。

歩行者中心の道路空間の形成に加え、路線バスやタクシー等の公共交通、舟運等の浅草ならではの移動手段との結びつきを強化します。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 地区内の既存交通の整理

#### 【中長期】

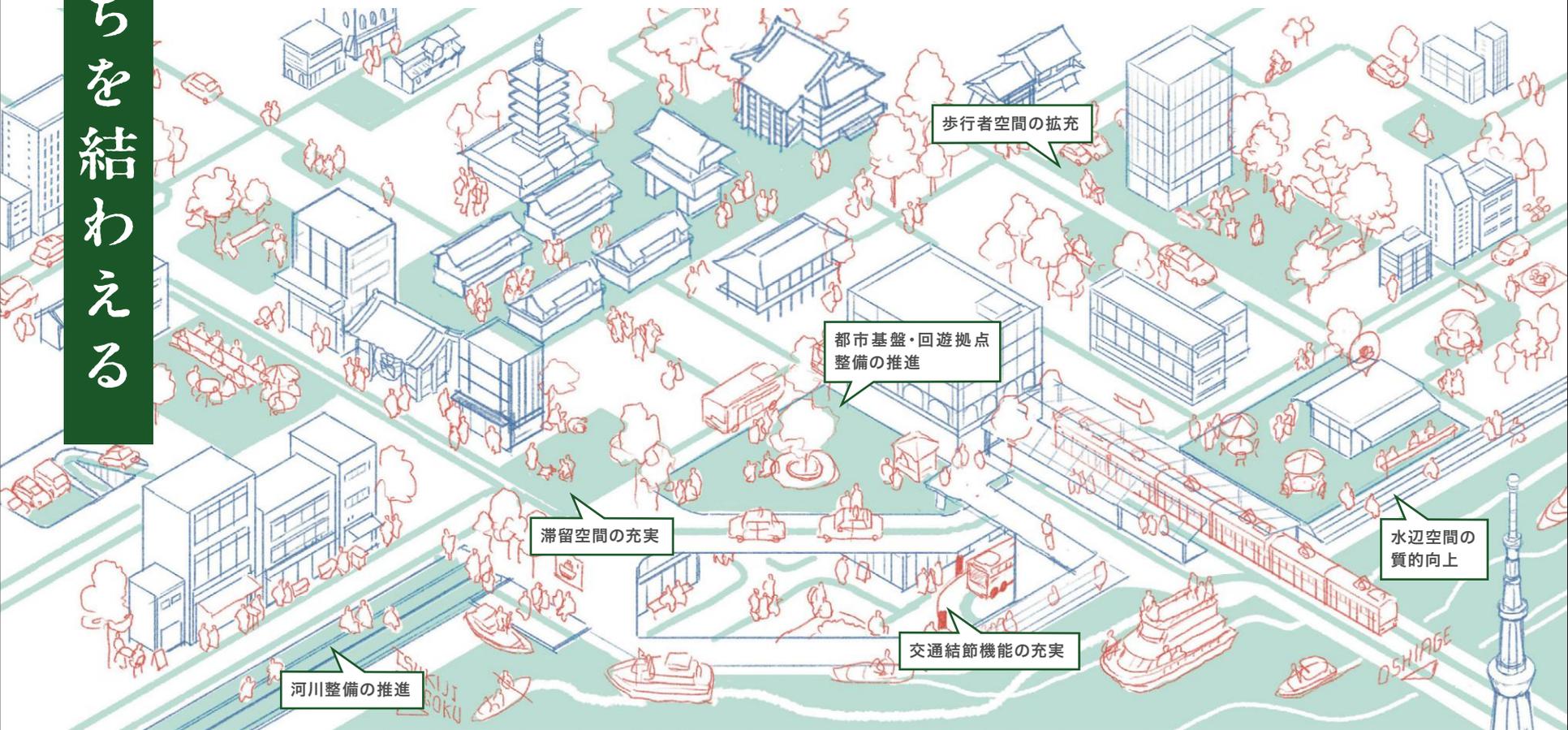
- 新たなモビリティ活用に向けたルールづくり
- 周辺地域とのつながりを強化する、自転車や新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの形成
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保

## 未来のまちの姿

広域的な軸や地区外への広がりや寄与する拠点づくりが進んだまち

駅とまちが一体的につながり、誰もが分かりやすく使いやすい交通結節点があるまち

住む人・商いをする人・訪れる人がともに楽しめるような、安らぎと賑わいが調和する水辺空間が身近にあるまち



## 居心地のよい 空間をつくる

イベントや社会実験を通じて公共空間の活用法を検証し、歩いて楽しい歩行者空間や滞留空間の充実を段階的に進めます。

通りごとの個性を活かした舗装・ファサードの美化を進め、各場所の街並みや空間デザインに配慮するとともに、浅草の歴史ある建物や雰囲気を維持・保全し、多くの人にその歴史を感じてもらえるようにします。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 浅草の個性や文化を感じさせる建物や街並みの維持・保全

#### 【中長期】

- 賑わいと快適性を共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 休憩や待合せなど多様なニーズに対応した滞留空間の充実
- 地区内外の個性ある資源を訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備

## 駅とまちを つなぐ

駅とまちをつなぐため、新たな都市基盤・回遊拠点を形成するとともに、交通事業者と連携し、バリアフリーを含めた利便性の高い乗換空間づくりを進めます。

利用者がスムーズに移動できるネットワークを構築し、わかりやすく移動しやすい地下空間の再整備を進めます。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- まちづくりプログラムの推進協議会での検討

#### 【中長期】

- 浅草3駅(東武・メトロ・都営)を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- 浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備

## 水辺とまちを むすぶ

隅田川や隅田公園、川沿いのまちをつなぐ空間整備で人々の往来と賑わいを創出し、周辺のウォーターフロントにアクセスできるよう、舟運や防災船着場の活用を進めます。

まちづくりと連携したスーパー堤防等の整備により、平常時も災害時も人が集まれる拠点を創出します。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体による河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進

#### 【中長期】

- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 水辺にゆとりと潤いをもたらす、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上
- 舟運での広域的なつながりの強化

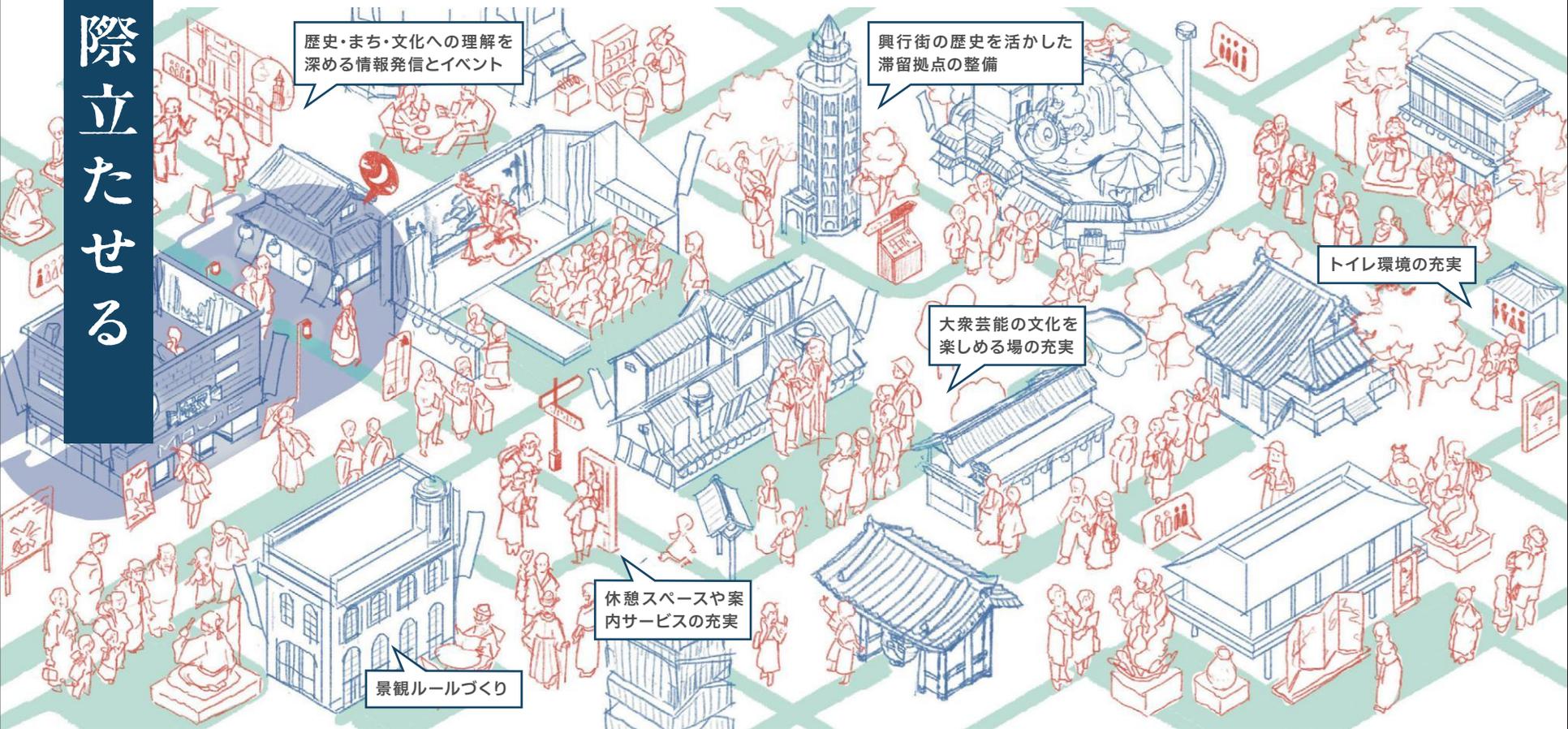
# 文化を際立たせる

## 未来のまちの姿

伝統と革新が調和し、国際観光拠点として国内外の多くの人々が魅力を感じる多面的な文化や、芸能・娯楽があるまち

まちなみや地域資源の継承・活用を通じて、浅草に根付く歴史や文化、産業を大切にすることを伝えられるまち

浅草のまちに思いやりや心からのおもてなしが溢れ、訪れる人を快適に受け入れることができるまち



## 表舞台をつくる

浅草寺などの文化資源を大切に育みながら、浅草独自の伝統・文化・芸能を活かした多様なイベントを提供し、ブランド価値を高める場づくりを進めます。

景観やまちの特性に配慮したルール導入と空間整備により、浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が誇りに思えるまちを目指します。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 生活に根付いた祭りやイベントに合わせて柔軟にかたちを変えるまちの環境整備

#### 【中長期】

- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実

## 本物を伝える

浅草の歴史・文化・魅力を様々なメディアや手法で積極的に発信し、多くの人に学びや発見の機会を提供します。

「浅草でしかできない体験」を磨き上げ、国内外に戦略的にプロモーションすることで、訪れる方に希少性の高い体験を楽しんでもらいます。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 付加価値の高いものづくり産業を支える環境整備
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信

#### 【中長期】

- 住む人・訪れる人がともに堪能できる、環境変化に応じた個店力の強化

## おもてなしの質を上げる

快適に観光してもらうための休憩スペースや案内サービスなどの受入環境を段階的かつ計画的に整備・充実していきます。

住む人・訪れる人・商いをする人が快適に過ごせるよう衛生環境を整え、地域と観光の共存のためのマナー啓発を進めるとともに、混雑緩和に取り組みます。

### 実現に向けた取り組み

#### 【短期】

- 公共空間や空き店舗などを活用した休憩スペースや案内サービスの充実
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- オンライン観光案内・混雑情報の発信による歩行者空間の拡充
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備

#### 【中長期】

- 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備



この章では、前章の各取り組みのうち、  
浅草における未来のまちの姿の実現に  
特に影響するものを

「戦略的まちづくりプログラム」として束ね、  
プログラム単位で進め方や  
実現イメージについて示します。

# III 戦略的 まちづくり

## プログラム



# 戦略的まちづくり プログラムの設定箇所

「戦略的まちづくりプログラム」は、空間として大きく再編される場所、現状の空間を維持しつつ魅力を増やしていく場所の中でも、まち全体に好影響が広がり、波及効果が最大化されていくことを狙いとして、場所と取り組みを戦略的に抽出し、整理しています。

## 1 人中心の空間の創出プログラム

(浅草全体)

主に該当するアプローチ:

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 07 表舞台をつくる
- 09 おもてなしの質を上げる

## 2 新たな回遊拠点の創出プログラム

(浅草駅・隅田川周辺)

主に該当するアプローチ:

- 02 人とまちを安全に
- 03 まちの移動をスムーズに
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 06 水辺とまちをむすぶ

## 3 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム

(東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)

主に該当するアプローチ:

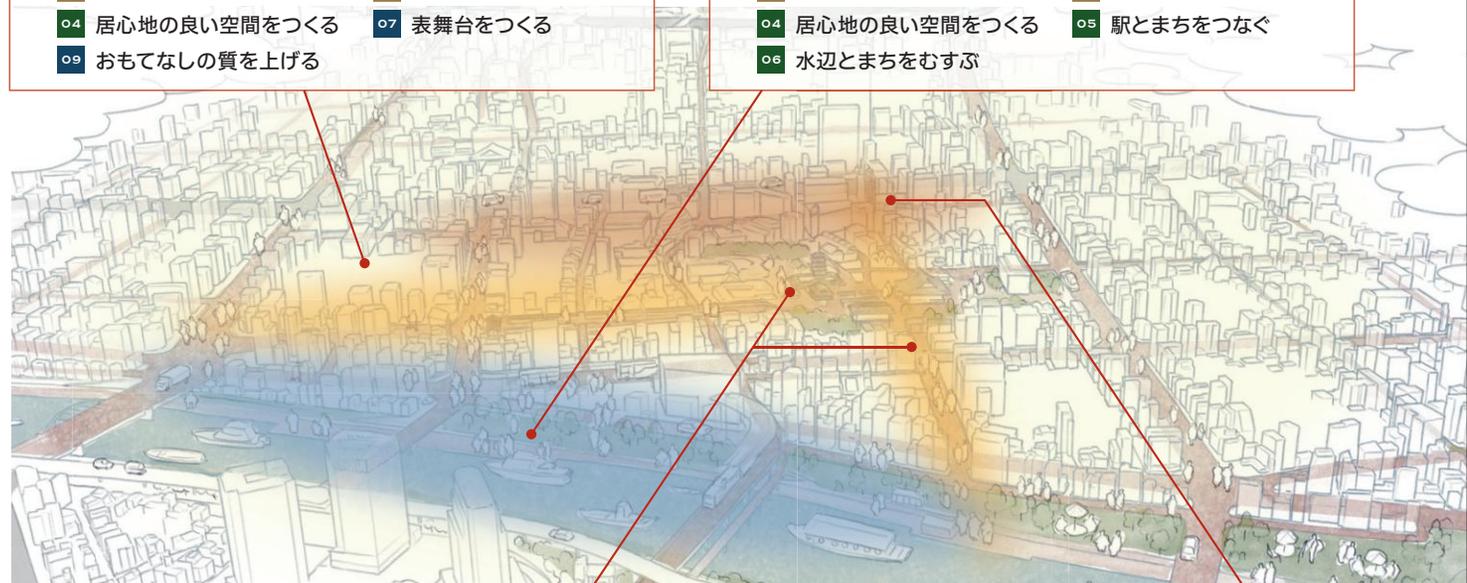
- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 06 水辺とまちをむすぶ
- 07 表舞台をつくる

## 4 賑わいの拠点の発展プログラム

(六区ブロードウェイ周辺)

主に該当するアプローチ:

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 07 表舞台をつくる
- 08 本物を伝える
- 09 おもてなしの質を上げる



# 1 人中心の空間の創出プログラム（浅草全体）

ありたい姿

空間の再編・創出を行い、「歩いて楽しい空間」をまちのあちこちに広げます。

- 訪れる人で溢れているまちなかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができる環境を確保します。
- 空間の利活用にまつわるイベントや社会実験が重ねられ、歩いて巡ることの楽しさを感じることができる空間環境を確保します。
- さまざまなシーンで活用できる道路空間づくりを推進します。

取り組み

- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 生活に根付いた祭りやイベントに合わせて改変が可能となるまちの環境整備
- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- 地区内の既存交通の整理
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 平常時や災害時にも多目的に活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備
- 賑わいと快適性を共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 地区内外の個性ある資源に訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備
- 周辺地域とのつながりを強化する、自転車や新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの形成

進行イメージ

浅草寺創建  
1400年

東武浅草駅開業・隅田公園開園  
震災復興100周年

計画見直し  
予定

台東区  
100周年

2028  
頃

2030  
頃

2038  
頃

2047  
頃

- ・エリアマネジメント団体等の組成
- ・歩行者空間の拡充に向けた社会実験や目指すべき方向性の検討
- ・モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの検討
- ・多様なニーズを踏まえた受入環境に向けた検証
- ・主要な通りや駅前における景観、駐車場、自転車等のルール導入に向けた検討

- ・エリアマネジメント人材の育成
- ・社会実験やあり方検討を踏まえた、道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充方針の作成
- ・雷門通りや並木通りなどにおける広場空間の検討
- ・モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの導入
- ・受入環境の段階的な運用
- ・主要な通りや駅前における景観、駐車場、自転車等のルールの作成

- ・エリアマネジメントによる持続可能な活動の展開
- ・まちなみの維持保全・適切な建物更新
- ・地区内での建替えルールづくりの推進
- ・道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充ネットワークやオープンスペースの実現
- ・時代のニーズに即した、持続可能な受入環境の運用
- ・景観、駐車場、自転車ルール等の運用

## 未来のまちのイメージ

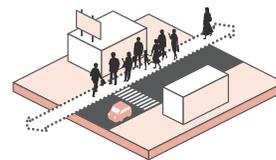


訪れる人で溢れ、混雑していたまちなかでは、広々と歩けて滞留もしやすい空間が整備され、快適な時間を過ごせるようになっていきます。



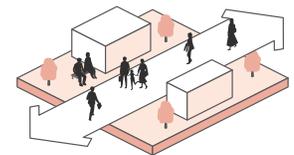
地域の生活やなりわいが広がる場所でも、まちに住む人たちがゆったりとそぞろ歩きができ、憩える空間が生まれ、日常的にまちへ繰り出したい気持ちになります。

## 概念図



### ■ 現状

歩行者空間が狭く混雑し、街並みの中で広告が目立つ等、空間として人が中心でなく快適さに欠ける状況です。



### ■ 未来

混雑する歩行者空間等の改善や浅草独自のルールの導入により、住む人・訪れる人が目的地までの道のりを快適に感じられる、歩いて楽しい空間を創出します。

## 2 新たな回遊拠点の創出プログラム（浅草駅・隅田川周辺）

ありたい姿

滞留空間の創出・交通結節機能の充実・拡充を行い、これとともに浅草駅や地下施設等を更新した「浅草の新たな回遊拠点」として発展させます。

- 鉄道・バス・水上バスなどの公共交通の利用がしやすく、利便性が高い交通環境を確保します。
- 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間を確保します。
- 観光や平常時の憩いだけでなく、災害時の避難にも対応できる空間を確保します。

取り組み

- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- まちづくりプログラムの推進協議会での検討
- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体の河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備
- 大規模災害時の人や物資の輸送手段の確保
- 浅草3駅(東武・メトロ・都営)を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備
- 舟運での広域的なつながりの強化
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 水辺にゆとりと潤いをもたらす、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上

進行イメージ

浅草寺創建  
1400年

東武浅草駅開業・隅田公園開園  
震災復興100周年

計画見直し  
予定

台東区  
100周年

2028  
頃

2030  
頃

2038  
頃

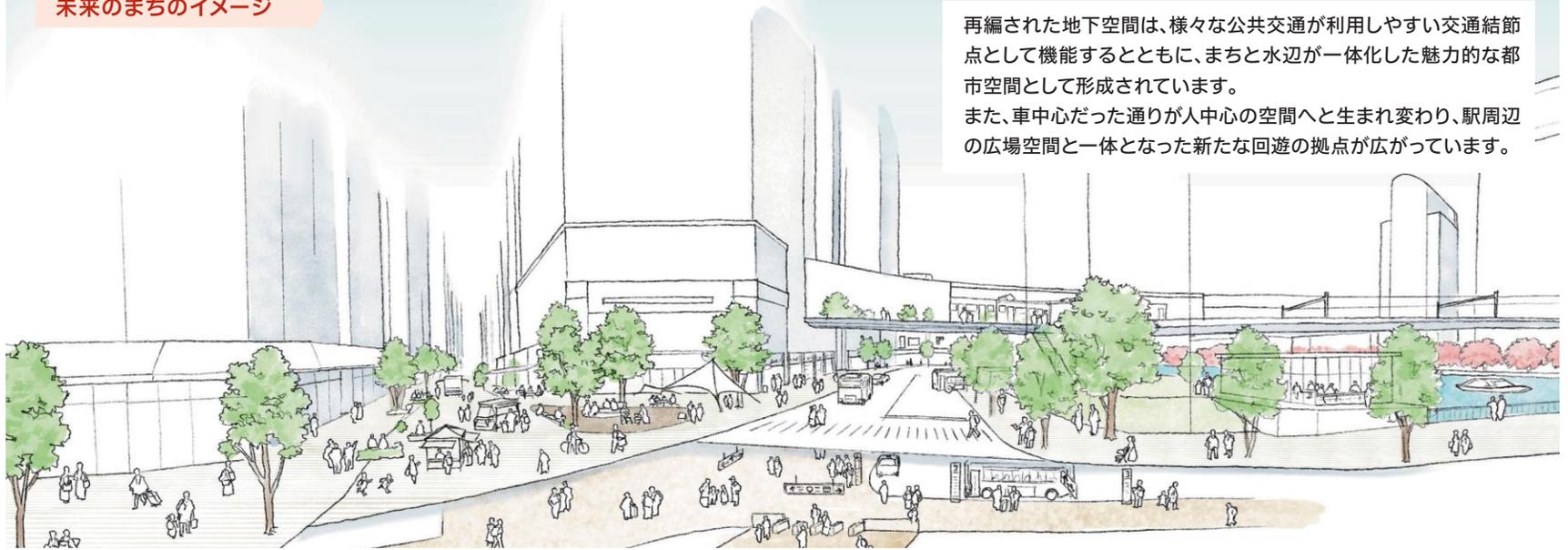
2047  
頃

・公共空間利活用に向けた社会実験  
・浅草3駅周辺を中心とした都市基盤整備の検討  
(交通結節拠点機能・駅前広場・道路空間・地下空間・バリアフリー・河川整備・まちと水辺をつなぐ基盤強化等)  
・観光などに資する舟運ネットワークの検討

・社会実験も踏まえた、浅草3駅周辺を中心とした都市基盤整備方針の作成  
・水辺空間が目的地となるイベントの充実  
・防災船着場の平常時利用拡大

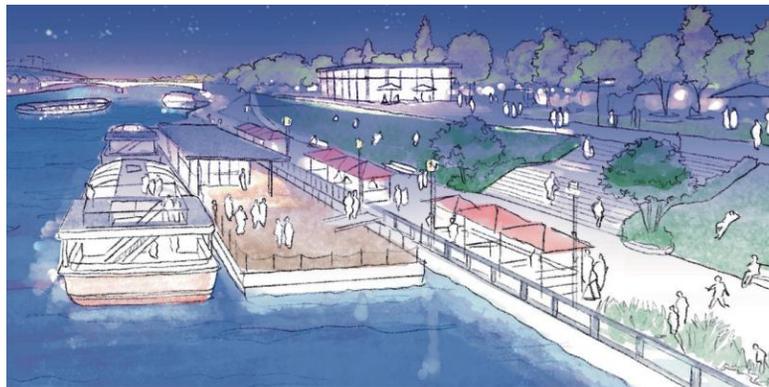
・浅草3駅周辺を中心とした都市基盤整備の実現  
・まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新  
・舟運ネットワークの形成・上下流との舟運の拠点化  
・エリアマネジメントによる、水辺を中心とした公共空間の維持管理

## 未来のまちのイメージ



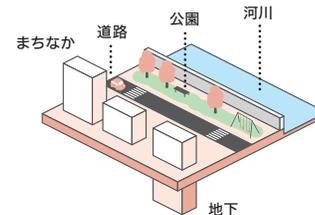
再編された地下空間は、様々な公共交通が利用しやすい交通結节点として機能するとともに、まちと水辺が一体化した魅力的な都市空間として形成されています。

また、車中心だった通りが人中心の空間へと生まれ変わり、駅周辺の広場空間と一体となった新たな回遊の拠点が広がっています。



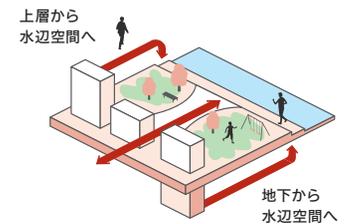
水辺とまちが一体的につながる親水空間が整備され、水上バスの利用促進も図られており、昼も夜も、人々が思い思いに時間を過ごせる心地よい滞留空間となっています。

## 概念図



### ■ 現状

堤防や道路等によりまちなかと水辺空間が分断されており、空間としてのつながりに欠ける状況です。



### ■ 未来

まちづくりに合わせて、水辺に親しめる空間を創出するとともに、複層的にまちと水辺をつなげることで、まちなかと水辺空間のつながりを再生します。

### 3 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)

ありたい姿

住む人や訪れる人が快適に回遊できる動線を整備し、「浅草の歴史を紡いできた二大空間(浅草寺・隅田川)を結わえる軸」として発展させます。

- 浅草寺と隅田川の往来を促進するような動線を確保します。
- 二天門前や隅田公園近辺では、東西の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草寺周辺や浅草寺と隅田川をつなぐ参道において、建物ファサードや屋外広告物等の統一感ある景観づくりを推進します。

取り組み

- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- 地区内外の個性ある資源に訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 平常時や災害時にも多目的に利活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備

#### 進行イメージ

浅草寺創建  
1400年

東武浅草駅開業・隅田公園開園  
震災復興100周年

計画見直し  
予定

台東区  
100周年

2028  
頃

2030  
頃

2038  
頃

2047  
頃

- ・浅草寺を中心とした滞留拠点の再整備の検討
- ・公共空間利活用に向けた社会実験
- ・浅草寺周辺に関する景観調査
- ・東参道・二天門通り周辺の公共空間の再編や活用に向けた検討

- ・浅草寺を中心とした滞留拠点の再整備
- ・公共空間における魅力的な都市機能の誘致や導入の検討
- ・浅草寺周辺における屋外広告物等の景観ルールの作成
- ・歩行者空間の拡充を踏まえた避難動線や空間等の目指すべき方向性の検討

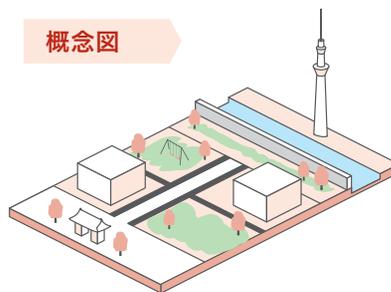
- ・まちなみの維持保全
- ・日常的な交流イベント、文化・産業コンテンツの発信
- ・魅力的な都市機能の誘致・導入
- ・景観ルールの運用
- ・東参道・二天門通り周辺の公共空間の再編や活用
- ・観光バス駐車場や乗降場の整備方針の作成、整備の実現
- ・災害時の避難に資する空間の確保

## 未来のまちのイメージ



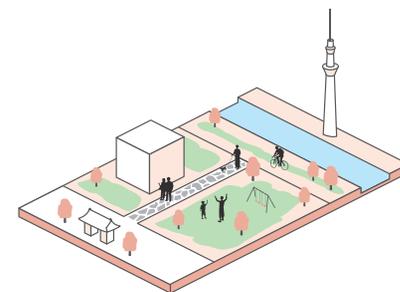
公共施設や公園と通りが個々に分かれていた状況から、各空間が連続的につながって、住む人・訪れる人・商いをする人が集まり行き交っており、浅草寺から隅田川まで往来したくなる場所として空間が再編されています。

## 概念図



### ■ 現状

浅草寺から隅田川へとつながる空間は公共施設や公園が個別に配置されており、人の往来が生まれづらい状況です。



### ■ 未来

住む人・訪れる人・商いをする人が集える一体的な空間として再編され、浅草寺や隅田川等、各目的地への人の往来や交流を促進します。

## 4 賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)

ありたい姿

地域による活動が活発に行われている、「賑わいのある西の回遊拠点」として発展させます。

- 興行や大衆芸能の中心地として、浅草のにぎわいを支えてきた数々の取り組みを展開します。
- 主要な通りでは、快適に通行でき、人々の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪れた人の集客を促進します。

取り組み

- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの見学ルートの発信
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備
- 浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備

### 進行イメージ

浅草寺創建  
1400年

2028  
頃

東武浅草駅開業・隅田公園開園  
震災復興100周年

2030  
頃

計画見直し  
予定

2038  
頃

台東区  
100周年

2047  
頃

- ・民間主導による拠点施設(ランドマーク施設等)の整備・誘致に向けた検討
- ・浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊促進方針の検討
- ・エリアマネジメントによる継続的な維持管理・イベント等の実施
- ・公共空間利活用に向けた社会実験
- ・六区ブロードウェイ等のほこみち制度の活用
- ・浅草六区地区計画やデザインガイドラインの検証
- ・歩行者専用時間帯の拡大

- ・民間主導の拠点整備等の方針や計画の作成
- ・浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊促進策の推進
- ・エリアマネジメント体制の拡充
- ・社会実験を踏まえた歩行者空間等のあり方検討
- ・地区計画等の運用の見直し

- ・民間主導による拠点施設の整備の実現
- ・エリアマネジメントによる持続可能な活動の展開
- ・地区計画に沿ったまちなみの更新
- ・浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイの回遊促進の展開
- ・公共空間でのイベントを背景とした、興行場などの施設整備の展開

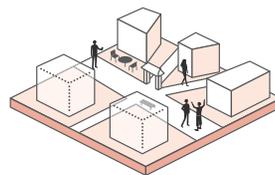
## 未来のまちのイメージ

屋外で演芸が行われていたり、活気を感じながら滞留できる場所が生まれたりするなど、六区ブロードウェイを中心に浅草ならではの賑わいが創出されています。



それぞれ個性を有する商店街では、通りごとに建物のデザインやファサードが整い、気軽に滞留できる場所が設けられるなど、まちや商いの賑わいが一層感じやすい空間が広がっています。

## 概念図



### ■ 現状

興行や大衆芸能の中心地として、六区ブロードウェイを主軸に賑わいが生まれている状況です。



### ■ 未来

公共空間の積極的な利活用をさらに促進することで、六区ブロードウェイをさらに発展させ、浅草ならではの興行や大衆芸能による賑わいや文化を、周辺の通りや空間にも広げていきます。

まちづくりビジョンの検討ステップにおいて、地域の方々より、  
未来のまちのイメージにつながる意見をたくさんいただきました。

II・III章に示す「取り組み」の他にも、本図案策定に関わった地域の方々の未来のまちの姿に対する想いや、  
いつか実現できたらよいと考える取り組みを「アイデア」として紹介します。

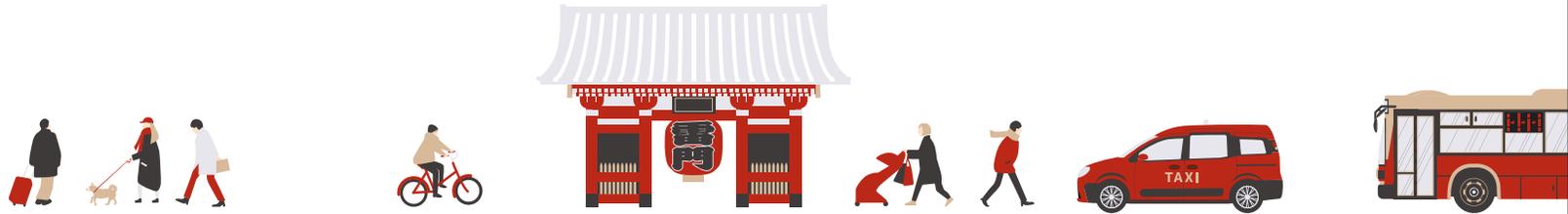
## 観光

- 店で商いをする人とのコミュニケーションを楽しむ機会の充実
- 興行をしたい人へのメリットがある官民連携での誘導
- 江戸芝居小屋の整備
- 浅草とスカイツリーをつなぐ一大回遊動線となる“光の道”の創出(スカイツリー～浅草寺～観音裏地区へとつながるライトアップの演出)
- 浅草を東西方向に結ぶ通りにおける、ものづくりマルシェ等による道路空間の活用
- 伝統工芸の各工房における作品展会場やカフェの併設
- 滞在時間を延ばすコト消費の充実
- 夜の飲食や観光で宿泊を増やすことによる滞在時間の延長

- 言問通りにおける、マルシェ開催などのイベントの実施・水辺方面や上野方面への賑わいの形成
- 芸者の魅力発信・料亭を増やすための仕組みづくりの推進
- 富裕層にも対応した本物を感じさせる高質な商品・サービスの充実
- ボランティアガイドのレベルアップ・有償化
- 地域のお店紹介とセットとなったガイドの普及
- 店舗同士の協力体制の強化
- 滞在時間の分散の促進
- 浅草ならではの過ごし方を示す“浅草ルール”のようなものの作成・訪れる人への発信
- 公共施設や民間施設のトイレや喫煙所利用に関する一般開放の呼びかけ
- 訪れる人が集中するエリアにおける、観光と生活に資する官民連携による公共施設の整備

## 住環境

- 人とのつながりや次世代への継承の推進
- 住む人の活力の創造
- 昔から浅草に住んでいる人と、新たに引っ越してきた人との良好な交流・コミュニティの創出
- 住む人や商いをする人のための居場所の充実・満足度の向上
- 新規出店者と昔から商いをする人とのつながりの強化・若い経営者への支援
- 新規出店者の意識・ルールづくりの推進
- 各商店街の連携による地域の活性化
- マンションの1階部分における、地域に開かれた店舗や交流空間の創出



## 防災

- 発災時における飲食店の開放など、民間施設の協力による避難場所の充実
- 発災時にも自らの位置関係をすぐに把握できる案内サインの充実
- 台東区だけでなく隅田川沿川で連携した堤防の整備
- 安全面を意識した地域のイベントや活動の充実

## 水辺

- 隅田川の魅力を活用した、プロモーションの推進
- ペット連れが楽しめる空間の創出
- 水辺空間の利活用に関する許可窓口の一本化
- 自転車を積み込み、浅草とお台場方面を行き来できる舟運の活用
- 訪れる人の荷物輸送につながる舟運の活用・隅田川の近くに荷物を預けることができる拠点の設置
- 自家用の船も乗り付けることができるような水辺空間の整備
- 伝法院通り～東武浅草駅北口～助六夢通りをつなぐ水辺への動線の活用

## 交通

- 駅周辺の思い切ったまちづくりの推進
- トイレなど駅施設の使いやすさの向上
- まちと一体になったわかりやすい案内の充実
- 東西動線の強化(浅草～上野間との連携)

## etc その他

- 古い歴史を残しつつ、近未来的なものも取り入れた、いろいろな色のあるまちの創造
- 世間一般の人々に喜んでもらえるまちの創造
- 地元の人に限らず、周りから来る人にも愛されるまちの創造
- 住む人が「面白い」と感じる回遊の創出
- 墨田区と連携した、もう少し広い「下町圏」で捉えたまちの形成
- 物理的に狭い浅草のまちの状況を踏まえた隣接区との協力による広域的な土地活用の推進

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 委員名簿 (敬称略)

--

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 オブザーバー名簿 (敬称略)

--

基盤整備部会 部会員名簿 (敬称略)

--

基盤整備部会 オブザーバー名簿 (敬称略)

--

描いた未来を実現する。

それは、ここからが本番です。

浅草は、まちの人々とつくり上げてきたまち。

これからも力を合わせて、

まちの未来をともにつくってまいりましょう。

表紙の紙の裏がきます

